

2016年4月27日

科研・基盤研究(B)
「高レベル放射性廃棄物(HLW)処理・処分施設の社会的受容性に関する研究」
第1回(キックオフ)研究会メモ

日時:2016年4月22日(金)17:30~19:45

会場:早稲田大学(早稲田キャンパス)19号館(西早稲田ビル)713会議室

出席者:11名

松岡俊二(早稲田大学)、師岡慎一(早稲田大学)、勝田正文(早稲田大学)、黒川哲志(早稲田大学)、竹内真司(日本大学)、井上弦(神奈川県農業技術センター)、李洸昊(早稲田大学 RA)、中川唯(東京工業大学 RA)、吉田朗(早稲田大学 RA)、朝木大輔(早稲田大学 RA)、片寄凌太(早稲田大学 RA)

記録:李 洸昊

議題:科研PJの今後の進め方について

- (1) 研究会の趣旨および出席者の紹介
- (2) バックエンドPJ研究の目的と進め方について 松岡俊二
- (3) 放射性廃棄物処理の課題 黒川哲志
- (4) 原子力賠償(プライス・アンダーソン法)について 吉田 朗
- (5) 今後の研究活動計画

主な議論:

- ①高レベル放射性廃棄物事業の社会的受容性に関する先行研究の整理
(欠如・文脈モデルを中心に)
 - ・社会的受容性に影響を与える要因の整理
情報(科学的知識)、リスク認知、ベネフィット認知などの影響
 - ・NIMBYの独立性
- ②高レベル放射性廃棄物の処理・処分の課題
 - ・潜在的受け入れ地域の不在(住民の反対)
 - ・法・政策の問題
地層処分に対する環境影響評価制度の不在、処分地選定プロセスの適切性
 - ・科学的有望地の選定、環境倫理学の観点
技術的安全性(安全性評価)、長期間の事業、世代間の公平、可逆性や回収可能性
- ③原子力賠償と特定廃棄物の損害賠償
高レベル放射性廃棄物の処理・処分事業における損害賠償

今後の予定:

- ・5月6日(金)17:00および5月13日(金)14:00:RA打合せ
- ・2016年5月27日(金)~5月28日(土):青森県六ヶ所村調査
- ・第2回研究会:6月24日(金)18:00-19:30、早稲田大学19号館713会議室
奥村裕一(東京大学公共政策大学院客員教授、元通産省資源エネルギー庁原子力産業課長)
「核燃サイクル政策とバックエンド問題をめぐって」(仮)
- ・第3回研究会:7月15日(金)18:00-19:30、早稲田大学19号館713会議室
竹内真司(日本大学)「地層処分をめぐって」(仮)
コメント:井上弦(神奈川県農業技術センター)

以上